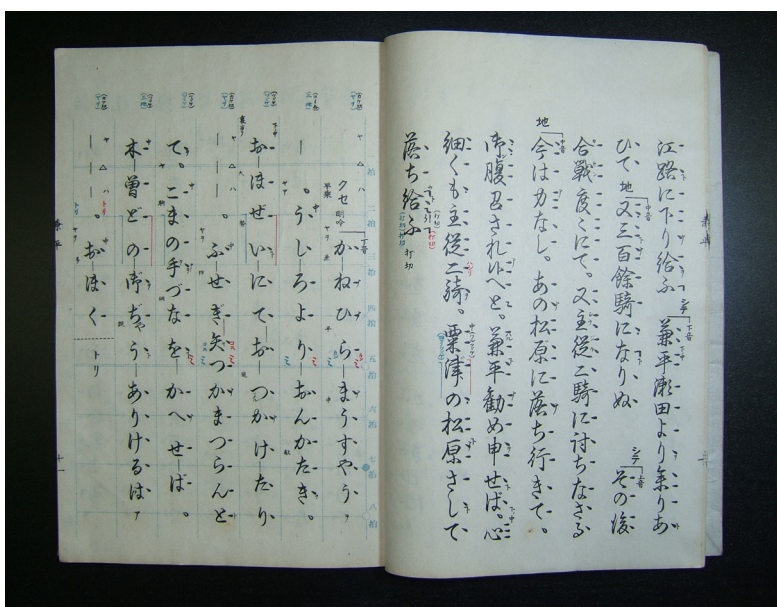


田崎延次郎 『大正九年九月檜常之助刊地拍子附謡本「兼平」』

拍子不合の部分については、従来通り、拍子合の部分については、すべて八割に文字を配置するかたちをとった、画期的な謡本である。写真下は、兼平後場のサシからクセに入るあたりの丁。本文の右に赤で大倉流小鼓、本文の左には、青で幸流小鼓の手を記している。他に、高安流大鼓、葛野流大鼓等が色分けして示されている。



標題 内題…兼平

標題紙…

奥附…

その他…兼平(柱)、地拍子附大、小鼓。

太鼓手配附 兼平 内二ノ二(題)

籤

著者 奥附…田崎延次郎

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…檜大瓜堂書店

出版年…大正9(1920)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…一七丁

寸法…23×16(cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考